歌浦っ子だより（学校だより）

「やさしい心　夢かがやく　歌小の子どもの育成」

平成２９年　４月２８日　　文責：校長　内野義和

新任校長の思い

大塔小学校教頭から校長になったわけですが、教頭時代だけでなく、教諭時代からもこういう学校にしたいという思いがありました。それは、次のことです。

①まさに「**学校（がっこう）**」にしたい。子どもがいやいや「勉強」するのではなく、自らが「学ぶ」ようにしたい。
②「**合校（がっこう）**」にしたい。子ども同士が「学び合い」「助け合い」「支え合い」「教え合い」「聞き合い」のある学校にしたい。先生たち同士も同様。保護者のみなさん、地域のみなさんとも、子どもの成長、幸せのために共に手を「取り合う」ことができる学校にしたい。
③「**楽校（がっこう）**」にしたい。「楽しい学校」にしたい。学校に行くだけでも「楽しい」をもとにして、こんなことがわかった、できたから「楽しい」、こんなことを友達とした、つくったから「楽しい」という学校にしたい。

着任して１か月あまりが過ぎようとしていますが、本校はそれができているようです。驚きました。ありがたいなと思っています。

ご存じのように、本校は数年前から先行学習に取り組んでいます。学習規律のもと、家庭学習も加わり、効果をあげています。まさに「**学校**」になっています。

子どもたちも、先生方もとても仲がよく、お互いに「学び合い」「助け合い」「支え合い」「教え合い」「聞き合い」ができているようです。保護者の皆様も、地域の皆様も本当に学校のため、子どものためということで協力をしていただいています。まさに「**合校**」になっています。

「**楽校**」も同じです。校門前で毎朝立っていますが、どの子どもも笑顔で元気にあいさつをしてくれます。学校に来るのが楽しいのだなと思います。このあとの「こんなことがわかった、できたから『楽しい』、こんなことを友達とした、つくったから『楽しい』という学校」にさらになるよう、今年度も全教職員一丸となって取り組みます。

行事などから見えてくるもの

行事などでの子どもたちの様子はホームページにアップしていますので、ぜひご覧ください。ほぼ毎週、多いときは毎日アップしています。

アドレスは http://www.city.sasebo.ed.jp/es-utagaura です。

さて、行事を見ていますと、歌浦小の子どもたちのよさがはっきりとわかります。それをご紹介します。

着任式では、６年生の新立琴葉さんが、私たち転入職員への「歓迎の言葉」担当になりました。その際、原稿も見ず、私たちの方を見て歓迎の気持ちを込めて語ってくれました。また、入学式では、６年生の松田櫂里さんが１年生へ歓迎の言葉を、新立さんと同様、原稿も見ずに歓迎の気持ちを込めて語ってくれました。

子どもは原稿を見ると、「語る」のではなく、「読んで」しまいます。読むと人の心には届きません。国会答弁などで、官僚が書いた原稿を読みながら大臣が答弁するのをご覧になられたことがあると思いますが、語らず、読んでいるだけなので、まったく聞いている者に伝わってきません。原稿を自分で書いていても、子どもの場合は、やはり読んでしまうのです。ですから、子どもには、間違ってもよいから、ある程度覚えて、あとは気持ちを込めて、語るように話しなさいと教諭時代に指導したものでした。

歌浦小の６年生はそれがしっかりできていて、感心しました。よい学校に来ることができたと思いました。

実は、始業式での子どもたちへの話は原稿を書いていましたので、それをチラチラ見ながら話そうと思っていましたが、新立さんの素晴らしさをその前に見ましたので、やめました。私の思いを子どもたちへ語ろうと思いました。語ったので、伝わったのではないかと思います。

前号で書きましたように、私は始業式で、「できたことをもとにして、夢をもつこと、めあてをもつこと、そして実現に向かって努力すること」と話しました。それを受けたように、４月２１日（金）全校朝会で、次の子どもたちが自分の夢、めあてを全校児童の前で堂々と発表しました。

１年（大円坊愛美さん・佐々木海斗さん・吉浦謙伸さん）
２年（岡本一輝さん）　３年（山口玲桜さん）　４年（川口真凜さん）
５年（吉浦陽由さん・小田悠太さん）　６年（川尻拓也・新立優花さん）

語ることを第一にしていたので、どの子もみんなの方をしっかり見て語り、夢やめあてがしっかり伝わりました。やはり**気持ちを込めて語ること**です。これからグローバル化の時代になります。さらに伸ばしていきます。

明日から大型連休が始まります。 学校でもしっかり安全指導をしています。楽しい連休が過ごせるよう、ご家庭でもよろしくお願いいたします。